

# 南山だより



東京都港区元麻布 3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-ky.ed.jp

## 変化の中で

早いもので一学期も残り三週間となりました。先日の道徳授業地区公開講座には、多くの保護者、地域の皆様に来校していただき、子供たちの様子と道徳の授業を見ていただくことができました。学年によって内容はそれぞれでしたが、各ご家庭でも何かの折に子どもたちの話を聞いてもらえると嬉しいです。

先月から学校では水泳指導が始まり、校長室にも子供たちの歓声が聞こえてきます。近年は暑さが厳しくなり、暑すぎでプールに入ることが出来ない日も多くなっています。私たちの世代では、暑い夏にプールに入って一服の涼をとっていたものですが、それだけ気候も含めて環境が変化しているのでしょうか。

さて、今回は私が以前に勤務していた、夜間学級についてお伝えしようと思います。多くの方にとって夜間学級と聞くと、高校や大学の定時制のようなイメージをもたれるかもしれませんが。夜間学級とは、元々は戦争などで義務教育を修了していない(中学校を卒業していない)人たちが学び直すために設置され、現在でも都内には8つの夜間学級があります。ですから、通っている生徒は高校生以上の年齢で、中学校を卒業していない人たちでした。なお、実際の夜間学級の様子は、山田洋二監督の映画「学校」の中で描かれています。

私が勤務していた時には、戦争のために卒業できなかった生徒は随分と高齢になったこともあって一人しかいませんでした。代わって、外国籍で母国では学校に通っていなかったり、卒業していなかったりする生徒たちが多くなっていました。生徒の国籍は10か国以上にわたり、中には日本語がほとんど分からない人もいました。ですから、日本の学校のルールが理解できなかったり、互いに意思疎通が出来ずに喧嘩になったりすることもありました。年齢も10代の後半から90代まで幅広く、まさに多様な生徒と一緒に学んでいました。

外国籍の生徒の多くは、昼間は何らかの仕事をしています。中には夜中も別の仕事をしている生徒もいました。夕方、仕事を終えてから夜間学級に通うということは大変なことだったと思います。しかし、ほとんどの人は明確な目的があったので、非常に熱心に勉強に取り組んでいました。その目的の多くは、中学校の卒業資格を取得し、日本や母国で高校などに進学して、自分にとってより良い仕事を得ることでした。夜間学級に通う人たちにとっては、学校へ通うことは当たり前前のことではなく、必要があって通っていたのです。

夜間学級は通常の中学校の中に設置されているので、同じ校舎の中で朝から夕方まで過ごす通常学級の生徒と、夕方から夜まで過ごす夜間学級の生徒がいることになります。私は当初、通常学級と夜間学級の違いに戸惑いましたが、日本で働きながら異国の学校へ通っている外国籍の人たちに触れ、自分とは異なる感覚があることを実感しました。

ここ数年だけでも様々な環境が急激に変化していますし、今後も変化していくことでしょう。これまでとは異なる文化や価値観と共存していくことも増えていくと思います。そして、この変化が10年、20年先、どれだけの大きさとなるのかは分かりません。その10年、20年後に社会に出ていくのが今の小学生たちです。今の子供たちが社会の中で自立していくとき、何を身に付けることが必要でしょうか。私は、自分がどのように生きていきたいか(職業や生活)という信念。自分や社会について現在の状況を捉え、将来を予想する力。他者の考えや生活(違い)を受け止め、協調していく力などを身に付けて欲しいと考えています。

南山小学校での学校生活を通して、子供たちの発達段階を考慮し、子供たちが将来、社会の中で自立していくための力を育てていくには、各ご家庭や地域の方々のお力が必要です。ぜひ、お力添えください。

暑さが厳しい日が続いていますが、保護者、地域の皆さんも体調などを崩されないよう、ご自愛ください。

## 自分たちでつくりあげた箱根移動教室

6年担任

6年生がスタートした4月に、今年度、楽しみにしていることを聞くと、多くの児童が「箱根移動教室」と答えていました。6年生にとって大きな行事の一つである、箱根移動教室が5月29日(水)～31日(金)に実施されました。

移動教室ではそれぞれ目標を立て、一人一人が自分の役割を確実に行うことで、みんなのためになることを意識して、準備を進めてきました。実行委員会を中心に、活動班の班長、各部屋の部屋長、食事係、環境係など、どの係も、役割を理解し、どのように声をかけたらいいか、どのような準備が必要であるか係同士で考えたり、みんなに相談し、アドバイスをを受けたりしながら、準備を進めました。

移動教室の三日間を通して、一人一人が役割を確実に実行する姿が見られました。南山小学校に帰校した時の子供たちの表情から、6年生が大きく成長する機会になったことを、担任として嬉しく思います。

6年生になり学年として成長していることの一つに、互いに高め合う言葉がけが増えていることがあります。この移動教室でも、これらの言葉がけをする姿が随所で見られました。移動教室が楽しいだけでなく、充実した時間になったのは、この6年生の強みが十分に発揮され、自分たちでつくりあげた箱根移動教室を成功させることができたからです。今後の6年生の活躍も期待しています。

## 友達との関わり ～友情とは～

道徳科主任

日々の道徳の学習を通して、子どもたちは学びを深めています。道徳の授業では物語文を読むことが多々あります。国語の授業では、文章に根拠を見つけて読み取っていくことが多いです。一方で、道徳の学習では物語の登場人物の心情や行動を読み取った後に、「自分だったらどうするか」を考えて、共有しています。自分事として考えることに重きを置く教科です。学校教育では、道徳の授業だけではなく、教育活動全般を通して道徳心の育成に取り組んでいます。たてわり班活動での他学年交流や学級内での子どもたち同士の交流、また、全授業における意見交流を通して他人を認める機会があります。小学校を卒業した後、また大人になってからも大切である道徳心を今後も全教育活動を通して育てていきます。

その子供たちの心の成長や家庭・学校・地域社会における道徳教育の在り方について、相互の理解を深めることをねらいとし、道徳授業地区公開講座を開催しました。今年度は「主として他の人との関わりに関すること」をテーマとし、言葉遣いや挨拶、礼儀について友達と話し合いながら学びました。1年生は「心を込めた言葉遣いが相手の心を温かい気持ちにすること」を考えました。2年生は親切にするためにはどうするのかを話し合いました。3年生は「友達と心のつながりを意識して、助け合う」ことを、4年生では「友情を深く思うことについて」を考えることを通して、友情を深める意欲を高めました。5年生は「SNSの利用における人間関係を上手に構築していくためにはどうしたらよいか」、6年生は「互いに信頼し、高め合いながら友情を深めることを通して、本当の友達であればどうするか」について考え、議論しました。

今後も家庭・地域と連携を図り、道徳教育に取り組んでまいります。ご協力いただきますよう、お願いいたします。

## 7月行事予定

1日(月)	委員会	11日(木)	計算パーフェクト再テスト
3日(水)	漢字パーフェクトテスト	12日(金)	着衣泳(3～6年)
4日(木)	計算パーフェクトテスト	16日(火)	～19日(金)個人面談 クラブ活動
5日(金)	社会科見学(6年)	18日(木)	給食終
8日(月)	夏季学園説明会(5年)	19日(金)	終業式
9日(火)	避難訓練	22日(月)	～31日(水)夏季水泳
10日(水)	漢字パーフェクト再テスト		

## 7月生活目標

# 1学期の学習や生活を振り返ろう

